

問

根本 孝代 議員
ねもと たかよ

町内循環バスにかわる公共交通
(タクシー) 利用料金補助事業について

答 検討していきます (町長)

町の交通弱者対策として、平成26年4

月から町内循環バス制度にかわり、タクシーを利用した料金補助制度が実施されています。

このタクシー利用料金補助事業の運用を開始してから早5カ月が過ぎましたが、これは運転免許証の交付を受けていない、運転免許証は持っていても運転することができないなどといった、いわゆる交通弱者を支援する制度です。しかし、恣意的に解釈し、通院買い物、公共施設・金融機関・駅などへの移動といった利用目的ではない使い方や、日常生活の交通手段に支障をきた



タクシーのりば (松久駅)

さない方も利用しているのではないかと、という町民の声があります。そこで、

① 交付申請者は何名か。また、予算額に対してどのくらいの支出がされているのかお伺いします。

② 利用目的の把握は行っているのかお伺いします。

③ 年間交付限度枚数96枚(4万8000円分)が適当な金額なのか、算出根拠をお伺いします。

町長

① 8月末現在の交付申請者は478人、タクシー事業者からの請求は8月分までで約300万円、月平均60万円の支出です。このまま推移すると、予算額500万円に対して不足が生じるので、12月の定例議会で補正予算を考へて

います。

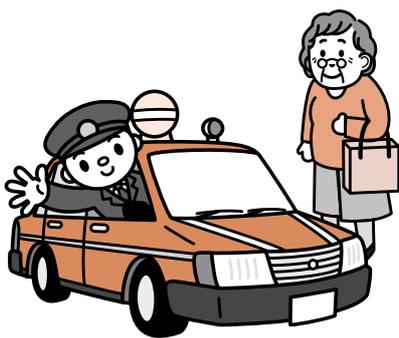
② 使い方は利用券交付時に説明し、タクシー事業者には注意事項を指示しています。

③ タクシー運賃を想定し、利用券1枚当たりどのような利用ができるかを検討、その結果、1月当たり4000円、

券にして8枚が妥当と判断しました。

■ その他の質問

どうして身近な町政に無関心なのか、少しでも町政に関心を持っていただきたい、意識変革の一助として、町民議会の復活を提案しました。



問

櫻沢 克幸議員

増加する空き家対策等について

答 条例化を検討したい(町長)



問 人口減少の流れは加速し、出産、結婚子育て支援、若者定住・移住促進政策、雇用促進等取り組むべき課題が山積している。安心・安全、防災・防犯対策としての空き家対策について伺う。空き家戸数、課題、町条例制定、地域活性化への対策等について伺う。



答 巡回活動を実施している。本庄市や上里町では、適正管理に関する条例を策定している。今後検討していきたい。利用対策については、今年度より美里町定住促進奨励金制度の中で、中古住宅の取得の場合も交付の対象にしており、有効に活用されるよう積極的に周知していく。

各行政区より提出されている陳情について伺う

問 美里町は、災害が少ない地域と言われているが、大雪災害や地震災害等発生し、その復旧・復

興が遅れている。防災体制の再検討を行い、さらに強化が必要である。また、各行政区から提出されている多くの陳情が大幅に遅れていると思われる。現在の陳情数、進捗状況、達成率、今後の実施予定と優先順位及び課題等について伺う。

町長 平成4年度〜平成26年8月までで124カ所の陳情を受けている。協力の得られない陳情もあり、達成率32%である。緊急性や寄居P.A.S.マートC事業の進捗も勘案しながら優先度を図り、順次整備を進める。防災体制の再点検については、災

害対策本部設置基準や災害時避難情報に関する発令基準等の整備をした。また、図上訓練や実践訓練は、危険な場所や緊急車両の通れない道、災害時に手助けが必要な人等の確認、自助・共助の必要性がさらに高まったことと認識している。また、家庭内や地域内防災力が向上するように対策を講じている。土砂災害訓練では、広木地区の避難訓練を実施した。

■その他の質問 生きる力を育む学校教育の充実と改正地方教育行政法について

町長

平成18年度調査において空き家件数は74戸と確認している。その後、調査は行っていない。県内の空き家は10軒に1軒の割合であり、調査の都度増加している。問題点としては、不法投棄や不審

者の侵入、不審火、災害時の倒壊等の懸念がある。町では、職員や防犯パトロール員、不法投棄監視員によ

問

角田 朝枝議員

教育委員会制度改悪で子どもたちを守れるのか!

答 政治的な中立性というのは保つと考えています(町長)



問 今回2つの問題があります。1つは法案が導入した教育大綱の規定です。制定は義務です。大綱は、国の教育振興基本計画の基本的な方針を参酌してつく

員長は廃止になります。現制度は、教育長を任命し、問題を感じたら罷免できません。教育長を指揮監督する

権限を持っています。ところが、法案によってこうした権限をすべて失います。新教育長の任期は3年とされ、大綱で教育方針を縛り、新教育長が教育方針を支配していくとなれば、愛国心教育の押し付けや競争教育の加速なども心配されます。

町長 制度が国の方で変えられた後については当然それに対応しなければいけないですけど、基本的な考えは今までと変わりませんので、教育行政については教育長を中心とする教育委員会に基本的には委ねております。私もやってほしいというものはありますので、そ

国民健康保険税を上げないこと!

問 国保税は平成25年度に上げたばかりです。それを1年後にまた上げるというのは町民にはなにと大変なことですか。4月から消費税も8%になっただけです。税の公平さとか言いますが、人の命ほ

町長 本来必要な受益者負担の3割以上です。これ以上町が負担するということとはできないだろうと、思っています。少なくとも過去必要時に値上げをしなかったツケが今きていると思います。

もう1つの問題は、新教育長です。新教育長は、事務局のトップである教育長と兼ねるポストで、教育委



中嶋 敬子議員

問

弱者のためにもっと考えて！
公共交通利用料金補助事業について

答 介護タクシーについては認識している(町長)



問

循環バスの代わりに
なる交通手段として、この制度は始まりまし
た。もともと自分で外出で
きる方のためのもので、本
当に困っている人のための
制度になっていません。介
護タクシーとの契約を推進
することについて考えを伺
います。

町長

本年度の推移を
見る中で、真に
必要な目的や使い方、金額
設定等を研究してまいりま
す。介護タクシーについては
大変利用しがいのあるタク
シーだと認識しておりま
すので、ご指摘のことは十
分踏まえながら、何ができ

防災について

問

これから起こり得る
天災に向けての対策
は進んでいますか。
備蓄品の中にプライバ
シーを守る手段や衛生用品
は含まれていますか。

町長

ほとんどの自治体で防災
会議への女性の参加が少な
いということが言われてい
ます。女性が参加できるよ
うな仕組みをつくっていた
きたいと思います。

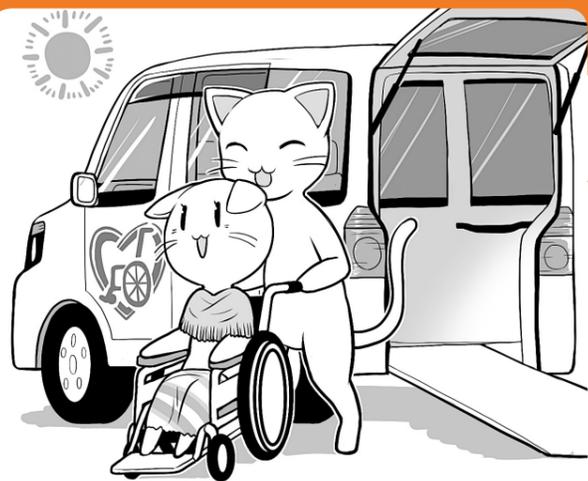
町長

町では、災害用
食料、水、毛布、
衛生用品などは、毎年備蓄
を行っています。また、大
雨時の対策として、土のう
を常時500袋、役場倉庫
に保管して、いつでも搬送
できるよう備蓄をしていま
す。さらに、美里町地域防
災計画に基づいた災害対策
本部設置基準や、災害時避
難情報に関する発令基準、
災害時に速やかに対応でき
る各種マニュアル等に基づ
き、天災に向けての対策を
図ってまいります。

■その他の質問

災害時応援協定について
・図上訓練について等

平成26年度より避難所内
にプライベート空間が保て
るワンタッチパーティショ



笹井 均議員

問

美しい里、美里町の実現と
公共施設等の樹木の適切な管理を

答 校庭の見通しがよくなり、安全、安心につながる(町長)



問

①ポピー祭りやコス
モスまつりの費用を
削減し「農業関係予算」に投
入した効果 ②公園の樹木や
水路等にある雑木の伐採管理
③学校や公園などの樹木管理
を適切にすること ④ケヤキ
並木のある国道254号沿い
の農地は肥料が吸収されて作
物が育たないことへの対策をお
聞かせください。

町長

①里山の環境保
全などに取り組
んでいます。②各行政区の
公園や道路のり面や水路
の草刈り等は地域にお願い
しています。③各学校内の
高木伐採で、校庭の見通し
がよくなり、安全安心につ



なるとPTAにもご理解
をいただいています。④国
道254号のケヤキ並木は

問

災害対策の体制
づくりを進める
こと

問

防災マップやハザ
ードマップが活用され
る体制づくりと、土砂災害危
険指定区域の住民に避難方法
など周知徹底し、防災対策を
すること。

町長

防災ガイドブッ
クをより有効に
活用できる方策を検討し、
地域に合った防災訓練等を
自主防災組織と実施します。

問

町政運営の基本
方針である町長
の公約について

問

原町長長の初出馬時
の公約で「4年以内
にやること」①将来の合併に
備え、美里町から合併に関す
る勉強会設置を提案 ②農産
物販売所の充実、市民農園の
開設、観光果樹園の駐車場・
トイレの設置 ③新幹線「本
庄早稲田駅」までのアクセス
道路の整備等の現状と決意を
お聞かせください。

町長

1期目の公約は
2期目の当選で
住民には理解されたものと
思う。①平成22年のアンケー

トの結果では「合併は必要
ない」が多かった。まずは、
町が将来にわたって持続可
能なまちづくりに努めてま
いります。②各観光農園が
自宅や農園に駐車スペース
や仮設トイレ等を確保して
います。6次産業化施設等
の拠点づくり、産直館や市
民農園も検討します。③新
幹線本庄早稲田駅までのア
クセス道路の整備は、本庄
市と連携を図りながら検討
してまいります。

会議録は、町役場・森の図書館にて、
どなたでも閲覧できます。

ミムリンの
一メモ

一般質問は、議員本人が要約しています。

全文は、(会議録)または(パソコン)から見られます。

ミムリンの
一メモ

問

田端恵美子議員

「ヘルプカード」の普及促進について

答 実施に向け検討します（町長）

問

障害や難病を抱えた人が必要な支援をあらかじめ記しておき、緊急時や災害時などの困った際に提示して、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするヘルプカードを作成、配付する動きが全国の自治体に広がりつつあります。障害者への理解を深め、つながりのある地域づくりを目指すためにも、ヘルプカードの普及を積極的に進めていただきますよう町長の見解を伺います。

町長

町といたしましては、災害発生時において、障害者、高齢者など災害時要援護者に対する



対応については、きめ細かな対応が必要であり、特に聴覚障害者や内部障害者であることがわからない方に対して十分な配慮が必要と考えますので、ヘルプカードは有効なものになると思っております。ヘルプカードの導入につきましては、個人情報取り扱いに十分配慮する中で、実施に向け検討します。

「読書通帳」の導入で読書意欲を高める取り組みを

問

近年活字離れが指摘される中、町民に読書に親しんでもらう取り組みの一つとして、読書通帳を導入する動きが各自治体で見え始めています。各自治体においては、図書館の利用の推進を図るため、地域の特色を生かしたさまざまな取り組みが行われていますが、読書通帳の導入は、財政負担を抑えた効果的な取り組みの一つとして推進できるものかと考えら



れます。導入に向けた検討を進めさせていただきます。

教育長

読書通帳は、子どもたちの読書意欲を引き出し、本を読む楽しさを知ってもらうことを目的に、読んだ本のタイトルや利用日などが記録できる読書記録ノートであります。当該システムを導入するに当たっては、通帳の製作やプリンターの導入及び保守に多額の費用を要することから、今後費用対効果の検証を含め、調査研究します。



問

原田 敏夫議員

町道1級2号線について

答 状況変化等を踏まえ検討する（町長）

問

本庄市、美里町、寄居町を



①町道1級2号線（通称農免道路）は、結ぶ道路ですが、今では通勤学マイカーや大型コンテナ車の通行で、朝夕は信号待ちが4、5回ぐらいになるとのことです。このような現状を踏まえて、今後の整備計画について。

②下児玉の交差点に右折帯を前回計画されましたが、地権者の都合で施工ができませんでした。今度は地権者の方も快く賛成してくださるとのことですが、迅速に設置できるのかについて。

③県道広木折原線円良田地内の拡幅改良工事及び国道140号のアクセスについての推進計画について以上3点について見解をお聞

町長

①町道1級2号線の整備計画

については、一部幅員が狭い箇所があり、広域幹線道路としての機能が十分とは言えない状況にあります。町では、この道路の拡幅について整備の必要があると考え、過去事業化を試みた経緯がございますが、事業の実施には至りませんでした。今後当時の状況の変化等を踏まえながら、改めて検討してまいります。

②この交差点は県道蛭川普濟寺線と町道1級2号線が交差する箇所、町道部分に右折帯がなく、朝の通

勤時間帯など右折待ち車両に後続が詰まり、交通渋滞を起しております。町では過去交差点改良については事業化しようとした経緯があります。当時は残念ながら町の計画と地権者の意向が折り合わず、事業の実施には至らなかったものでございます。今後は本庄市や前後の道路の拡幅手法を含めて検討してまいります。

③現在、円良田地内の約1キロメートルの区間が未改良で、これまでも町では県道を管理している本庄県土整備事務所に対し、拡幅整備の要望を行っております。この路線は寄居町と本



庄市を結ぶ主要な幹線道路で、重要な路線ですので、引き続き県へ要望を行ってまいりたいと考えております。



県道広木折原線（円良田地内）

